

自民・参政・無所属クラブ
江東区議会議員



けんざき 美彦
通 信



東京都江東区第三十四支部 発行責任者：鋤先美彦

区政報告 Vol.18
2025年1月号



次世代につながる
絆のある街・江東区

- ★街が元気～区民がつながり、活気あふれる安心の街づくり
- ★子どもが元気～次世代を担う子ども達の子育てを全力で支援する街づくり
- ★お年寄りが元気～いつになっても皆が健康で幸せに暮らせる街づくり

● 衆議院議員選挙 10/27

自民党東京15選挙区支部長の犬空幸星候補者の衆議院議員選挙は、江東区議会第3定例会中の10/15に告示され、所属委員会や本会議、そして大イベントの「区民まつり」もありタイトなスケジュールの選挙活動でした。多くの応援をいただき62,771票を獲得して小選挙区ではかないませんでしたが、比例当選することができました。支援者の方々に感謝いたします。ありがとうございました。犬空議員と連携し切磋琢磨して地域のために頑張ります。

● 東京都青少年健全育成成功労者等表彰式 10/22

30年以上前、川南小学校PTA会長時代に所属した「青少年対策小松橋地区委員会」では、環境部（地域防犯）と文化体育部（カローリング大会・作品展覧会）の活動を経て、育成部では中学生対象の夜間歩行（約30km）「東京ナイトウォーク」を企画・実行した評価と思い表彰を喜んで受けました。これもひとえに裏方で支えてくれた地区対事務局と活動に賛同して手伝ってくれた育成部はじめスタッフの方々のお陰です。この喜びを共有して引き続き子ども達の笑顔があふれ感動する行事を遂行し活動に邁進していきます。



ホームページ <http://www.kenzaki-y.com/>



けんざき美彦（鋤先美彦）●Profile

昭和34年1月6日 江東区扇橋生まれ
 〈学歴〉 江東区立川南小学校、千代田区立今川中学校、京華高等学校、玉川大学工学部
 〈職歴〉 東京トヨペット(株)を経て、実家である三孝自動車(株)入社、代表取締役
 〈経歴〉 川南小学校、深川第四中学校、京華中学高等学校のPTA会長を歴任し、元青少年委員、青少年対策小松橋地区副委員長、扇橋三丁目災害対策部長、深川消防団第2分団部長、深川八ヶ町防災協議会事務局長、保護司、和太鼓指導者など長年、地域・育成活動に従事。平成20年度（教育関係）、平成30年度（自治）区政功労者表彰。平成23年初当選、平成27年2期目当選、平成31年（令和元年）3期目、令和5年4期目当選し地域経験を生かし活動中。

自民・参政・無所属クラブ 江東区議会議員
けんざき美彦

事務所 〒135-0011 江東区扇橋2-21-3 TEL/FAX 03-5634-7855
 携帯 080-2152-1302 kenzaki.y.katuyaku2707@docomo.ne.jp
 E-mail:kenzaki.y.2707@gmail.com

令和6年度 第3回定例会・本会議 一般質問にて区長並び

第3回 定例会本会議 一般質問（抜粋）2024年9月20日

1. 震災対策の更なる協力体制について

(1) マンション防災について

Q：1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災から101年が経ちました。8月8日、日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、気象庁は「南海トラフ地震・臨時情報（巨大地震注意）」を発表しました。マグニチュード8以上では「巨大地震警戒」となり、事前避難など厳しい対応をせざるを得ません。区として、臨時情報の認知度を高める取り組みが必要だと考えますが、区の見解を。

A：国では、国民への呼びかけなど、臨時情報を巡る一連の対応について検証を開始しており、運用の改善を図る予定。区として国の新たな指針に基づき、事前周知や臨時情報発表時にあたっての適切な報告の方法など、認知度向上の取組を検討していく。

Q：区は、消防署とも連携し、マンション管理組合が独自に住民の避難訓練を実施するように啓蒙していますが、マンションが避難準備やマニュアルに従った防災対応型訓練を行うにあたり、どのような指導を行っているのか。

A：都は町会等と合同で防災訓練を行う場合に、補助率及び補助限度額を引き上げています。区として、防災計画に基づく安否確認や本部の設置などの訓練を勧奨しており、併せて、消防署とも連携し消火訓練や地震体験など、多くの住民が参加できる訓練を勧めている。

Q：町会・自治会とマンション管理組合とのつながりを構築・強化し、防災力の向上を図ることを目指し、合同での防災訓練の実現を支援する「町会・マンションみんなで防災訓練」がある。区の認識は。

A：本事業の活用を契機として、地域の防災向上に向けて、町会とマンション管理組合がともに協力し合い、顔の見える関係の構築につなげていきたいと考えており、都と連携し、事業の周知に努めていく。

Q：直下型では、揺れた段階でエレベーターが緊急停止して閉じ込められる可能性が高くなる。水と簡易トイレ、ホイッスル等が収納されているエレベーター用「防災キャビネット」をいまだ設置できていないマンション管理組合へ啓発は進んでいるのか。

A：区の補助として、協定を締結したマンションに対し、30万円相当の防災備蓄用品を提供している。エレベーター用防災キャビネットも選べるようになっている。



(2) 災害時協力協定について

Q：主に区内の企業・団体が、大規模な地震・風水害など発生した場合や発生する恐れがある場合、区の緊急対策活動に協力できる業務を定めたもの。協定書だけ取り交わしている団体は少なくない。どれだけの団体と協定を締結し、定期的に情報共有が図られている団体がどの程度あるのか。

各種団体を集めて協力体制を確認し、実効性のある関係を構築できるように「(仮称)活動協力団体協議会」の設立を要望する。協議会の設立や講習、そして指導できる人材配置について考えがあれば。

A：本年9月1日時点で102件、また、定期的に情報共有が図られている団体数につきましては、総合防災訓練の参加団体を中心とした約30団体。活動協力団体協議会の設立等については、協定団体との連携強化及び協定内の具体化が課題と考えております。

連携を深める方策の一つであると考えており、講習会の開催や人材配置も含め、まずは他の自治体の先事例の研究を行っていく。



2. 伝統文化の継承と区民参画について

(1) 多彩な芸術の推進について

Q：今年の夏は多くの神社で本祭りが開催され、街々にお神輿の御霊が総代会や町会関係者の努力によって、家々に届けられました。日本の伝統文化は継承されていると実感した。文化コミュニティ財団企画による伝統文化の公演は、区民が鑑賞しているが参加型ではない。多彩な芸術文化と一緒に気軽に楽しめる機会は少ないため、伝統文化を参加型で味わえる機会の推進に考えがあれば。

A：どのお祭りも活気に満ち溢れており、地域の結束力の強さや未来に継承すべき大切な伝統文化であることを、あらためて認識した。区民まつりの木場の角乗や木遣、富岡八幡の手古舞、砂村囃子などの伝統芸能を間近で体感頂いている。職人の技体験や伝統工芸展などを通じて、体験機会の提供や職人の技の公開に取り組んでいる。引き続き、伝統芸能や伝統工芸などを、身近に体感できる機会の充実に努める。

(2) 学校教育における芸術に触れる機会について

Q：児童が演劇のテーマを理解して、協力しながら舞台を創り上げる過程は大切で、人前で演じる経験は、教育的成長に必要と考える。学芸会が成立できなくなった学校の課題は。学校教育で生の舞台に触れる機会の創出について見解を。

A：学芸会を学習発表会等に変更した学校がある。生の芸術をこどもたちが鑑賞することは大切なことであり、こどもたちにとって文化や芸術を学ぶ貴重な場となる。「ティアラこうとう」において、オーケストラ鑑賞教室を実施している。生の舞台芸術に触れる機会の創出については、他の行事とのバランスも踏まえ検討していく。

(3) 区民参画の利便性について

Q：コンパクトで良いので区民や児童・生徒が利用できる利便性の良い舞台環境を整備することで気軽に楽しく、文化・芸術活動の参画ができる。区内の伝統文化・芸術団体に向けて、発表の機会を増やせる制度を促進することも必要。利便性良い舞台環境の整備と優先的な発表の機会を促進することは。

A：施設の舞台環境などの利便性向上や、文化・芸術団体の発表機会の充実は、大変需要であると認識している。

大規模改修を行う予定の「ティアラこうとう」においては、区民が気軽に発表できる場などの環境設備を行うこととする。登録制度を通じた育成と活動支援を行っており、区立学校施設の使用料の減額が受けられる制度がある。



所管理事者に質問しました。抜粋ですが報告いたします。

3. 地域からの学校支援について

(1) PTA組織への支援・協力について

- Q：PTA組織の継続と支援協力について対策する時期が来たと考える。残念ながらPTA会長が選出されても組織としての活動がなく、児童生徒の見守りや支援ができていない学校もあると聞き驚きました。「町会・自治会地域活性化補助事業」同様に活動維持のための援助が必要ではと考える。PTA組織の必要性と援助について、学校運営の関わりも含め見解を。
- A：共働き世帯やひとり親世帯が増える中、本区でも加入しない保護者が増えている学校があり、PTAを取り巻く環境は転換期を迎えている。保護者や地域の事情に応じた柔軟な対応ができるよう、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える仕組みが必要であると考える。PTAを含めた持続可能な「地域学校協働本部」の活動を推進していく。

(2) 「学校評議員会」の役割について

- Q：PTA組織と町会役員が協同して子ども達を見守っている事例は多く、「学校評議員会」でも報告されている。PTAと地域子供会や青少年対策委員会の活動報告や意見交換できる唯一の機会です。学校を応援する体制づくりについて協議する機会であっても良いと。PTA組織の強化や、地域協力の役割分担を「学校評議員会」で協議する方向性について見解を。
- A：様々な立場からご意見をいただくことにより、学校がより質の高い教育活動を展開することができる。学校と地域や保護者とのつながりを大切にしつつ、コミュニティスクールの導入を学校運営協議会に移行していくなかで、様々な役割分担についても議論していくべきと考えている。



(3) 青少年委員とコーディネーターの活動について

- Q：当区では各小学校区から選出され、昨年は70周年を向えた団体で、ジュニアリーダー活動支援や都立高校紹介、中学生徒会交流会など、さまざまな育成活動に積極的に参加している。地域での期待と活動例について認識を。
- A：青少年委員は、学校・家庭・地域諸団体の懸け橋となり、青少年の健全教育に努め、地域のコーディネートを図る役割を担っており、都立高校紹介等の他にも、二十歳のつどい、区民まつりへの参加や各地域での活動を積極的に行っている。
- Q：課題について青少年委員も共に協議し人材発掘に協力いただけることを望む。「地域学校協働本部」の活動は、コーディネーター研修も進められ、校内植栽や家庭科支援、学習補助等に協力いただいている。「地域学校協働本部」や「コミュニティスクール」の評価と新たなつながりが生まれる期待について。
- A：コミュニティスクールは、地域住民や保護者等で構成される学校運営協議会と地域学校協働本部が両輪として連携する必要がある。地域学校協働本部の充実を図り、コミュニティスクール導入校を拡大し、地域活動を活性化させることにもつながっている。

令和5年度決算審査特別委員会

「令和5年度決算審査特別委員会」報告

9/26～10/3まで5日間の決算審査では、委員長を拝命され、質疑・答弁の進行並び付託された審査の採決を認定しました。

一般会計の歳入では増額した特別区税・特別区交付金と都支出金等を合わせ2425億41百万円となり、増額された民生費、教育費、総務費等を合わせて2334億5百万円の歳出になりました。民生費では物価高騰重点支援給付金と子育て世帯応援に、教育費では小学校給食運営、総務費では防災ギフト配付に増額されました。お聞きになりたいことがあったらご連絡ください。



区民環境委員会 / 防災・まちづくり対策特別委員会

所属する各委員会の報告

● 区民環境委員会（委員長）

委員長ですので正副委員長打ち合わせで疑問点は質問しています。

請願・陳情では、たばこの受動喫煙防止の推進と公共喫煙場所の整備について具体的な場所や設備の方向性について報告できるように行政に要望しました。各委員の質疑・答弁の報告で、入場制限・有料化になった「江東花火大会2024」での安全警備の重要性と強化、好天に恵まれた「江東区区民まつり」の民間バス使用の改善点（バス停）が協議されました。

以前より区議会でも要望されていた「フィルムコネクション」が令和7年度から開始できるように予算が精査されました。映画・テレビのロケ撮影を誘致し区の魅力を発信し観光資源の創出につなげる撮影支援を行う窓口が設立されます。

● 防災・まちづくり対策特別委員会

「江東区国土強靱化地域計画骨子」と「江東区災害廃棄物処理計画」の改訂、各地で計画される都営団地の建て替えと西大島地域まちづくり並びに亀戸二丁目エリアまちづくりの方向性が報告されました。令和6年能登半島地震に係わる自治体への職員派遣と9月能登半島大雨での被災支援で災害見舞金の贈呈を進めました。

☆江東区議会ホームページで動画録画配信 <http://www.city.koto.lg.jp/ac/gikai/>

区民に開かれた議会を目指し、インターネット中継の実施と会議録の公開を行っています。



議員トピックス

●古写真さんぽ 10/5

小松橋地区対の環境部主催「古写真さんぽ」の古写真と現代の街を比較して環境を学ぶ活動をサポート、昭和で育った自分の思い出が役立ちました。戸都電が走り縁日が開かれていた商店街など、下町ならではの交流の機会があり活気があふれていました。

●区民まつり・中央まつり 10/19・20

木場公園で開催された「区民まつり」では、「東京都自動車整備振興会・江東支部」の副支部長として、点検啓蒙の活動ができました。社会貢献で恒例のバザー活動をして売り上げの一部を社会福祉協議会に協力させていただきました。

●京華祭 10/26・27

「京華中学高等学校」の卒業生保護者が応援する組織「京華会」会長としてバザー活動をして学園に恩返しすることができました。三校ワンキャンパスで女子中高が新校舎で一緒になったことで華やかな学園祭となり仲間と喜びを分かち合いました。

●深川消防団・都大会三位入賞 10/26

「消防団合同点検」(9/8)で練習の成果を披露した第2分団選手が笹塚消防学校で開催された「ポンプ操法都大会」にて、見事に三位入賞しました。選手並びに協力いただいた他分団員の皆さん、深川消防署関係者の方々、おめでとうございます。

●区政功労者表彰式 11/3

町会やPTA、区の関連団体で活動している功労者の表彰式、小松橋地区での喜びの笑顔で記念撮影♪ 受賞おめでとうございます。

●2024東京ナイトウォーク 11/16・17

昨年に続き復活した小松橋地区対の育成部が企画・実行している「東京ナイトウォーク」は、中学生が約27kmをトライする夜間歩行です。アニメの聖地をテーマにした一夜の体力錬成活動は、大災害時の訓練として進めていて深川四中・七中の生徒56名が立派に全員完歩してくれました。企画側として大満足、初めて自転車でコースを回り給水班とトライポイント(フリスビー等)を担当しました。

●川南和太鼓クラブ「グリーンフェスタ」 11/17

指導者で関わる「川南和太鼓クラブ」は夏祭りや川南まつりで大活躍、今年最後の演奏の機会は、東陽公園での「グリーンフェスタ」でオープニングに華を添えることができました。子ども達の成長は早くパワフルな発表で上達した成果がみられました。2025年は「鈴太鼓」の曲が演奏できるように練習に取り組みます。

●宇迦八幡宮「新嘗祭」 11/23

収穫された新穀を神に奉納しその恵に感謝するお祭りが、総代会の団結で開催され、多くの地域の参加者があり新年につながる活性が生まれ町会の皆さんと感謝の気持ちを共有しました。美味しいお肉や豚汁いただきながら焼きそば担当頑張りました。

●扇橋三丁目餅つき 12/1

今年の餅つきは区の活性化支援で設置できた蒸し器が大活躍、早く餅米を供給できましたが、青年部も高齢化で地域の打ち手協力と子供会のお手伝いで準備ができました。ご支援ありがとうございました。

●家庭倫理の会「感謝報告会」 12/15

広報誌「めいろう」の編集・写真を担当していますが、海辺支部で報告することになり、カメラマン兼務で頑張りました。親族や諸先輩に支えていただいていることを報告でき一年間の活動の締めくくりができました。



古写真さんぽ 10/5



区民まつり・中央まつり 10/19・20



京華祭 10/26・27



深川消防団・都大会三位入賞 10/26



区政功労者表彰式 11/3



2024東京ナイトウォーク 11/16・17



川南和太鼓クラブ「グリーンフェスタ」 11/17



宇迦八幡宮「新嘗祭」 11/23



扇橋三丁目餅つき 12/1



家庭倫理の会「感謝報告会」 12/15